

コーケン・テクノ 株式会社

あらゆる分野で活躍

総合力でトップシェアを誇る

国内唯一の溶射機総合メーカー

海外
発注可納期
相談企画力
自信有コスト
相談オンライン
見積りメイドイン
ジャパン試作可
小ロット生産
対応

プラント設備内で導入されている自動溶射設備。各設備に最も有用な溶射機を提案

輸入販売から開発へシフト
蓄積された広く深い知識で
総合メーカーの地位を確立

国内唯一の溶射機器専門メーカーであるコーケン・テクノ。溶射とは、いわゆる素材の表面をコーティングすることでその表面を改質し、付加価値を高めることに用いられる技術だ。セラミックスや金属、プラスチック等、その溶射材料により粉末状や線、棒状になったものに熱を与えて溶融し、液体微粒子として固体表面に対してまさに弓を射るがごとく高速で投射する。

溶射技術は、スイスが発祥の地。商社勤務であった先代社長がその技術を輸入し、昭和48年に独立、起業したのが同社の始まりだ。その後、ガスの燃焼エネルギーで金属ワイヤーを溶かす装置の国産化に成功。これを機に、さまざまな装置の開発に着手していった。

溶射機開発は、鉄鋼、自動車等あらゆる産業分野での要求をクリアできる技術ゆえに、多岐に渡る深い専門知識を要する。同社は、長年各分野を深く掘り下げてきたキャリアとノウハウを蓄積してきたからこそ、総合的にあらゆる分野に対応できる力を備えている。それが、国内唯一と謳える強みだ。

世界がライバル
自動車業界に強みを持つ
グローバルな競争力で飛躍

同社の製品が最も活躍しているのは、自動車業界。ボンネットの中には、同社の装置でコーティングされた熱交換器が入っている。これは、国内だけに留まらない。例



これからの飛躍の一翼を担う、現在開発中の「ポータブル式アーク溶射機」

えば、韓国、中国の大手自動車、エアコンメーカーにも多く納入されている。これらに活用されているのは、低電流特性制御機構搭載、シンクロ制御方式の「アーク溶射機」だ。約7年前、顧客からの要望により開発に着手。この成功が同社の飛躍の礎となり、今ではこの分野でのトップシェアを誇る。

グローバルに活躍し、世界を相手とした競争力を身につけていることも成長の原動力となっている同社。「今後の視点は東南アジア市場。新興国からすれば、日本のレイバーコストは高い。コストパフォーマンスを考えていくことがこれからの課題」と語る秋本社長。世界に視野を広げつつ、同時に国内ではさらに高い技術、新しい製品をリリースし続け、存在をアピールしていく。

その存在の証となる開発が現在すでに進んでいる。橋等のインフラ設備現場において使いやすいポータブル式の「アーク溶射機」だ。また、国内の法規制により海外輸入に頼っていた「HVOF高速溶射機」の国産化もめざす。

このように、常に挑戦することにより溶射機における総合力を強めていく同社。今後ますます業界内で唯一無二としての存在力を発揮していく。

Company Profile

コーケン・テクノ株式会社

関西22

住 所 〒592-8352
堺市西区築港浜寺西町5-2
T E L 072-268-1201
F A X 072-268-1204
設 立 昭和48年1月30日
資本金 2,500万円
従業員 9名
代表取締役 秋本 浩一

■主な事業内容
溶射機・装置の製造および販売
■主な取引先
自動車メーカー、機械製造メーカー等

<http://www.coaken-techno.co.jp>
他社には
負けない当社のものづくり
セールスポイント

溶射という技術に出会ってほしい！
国内唯一を誇る当社が対応します

代表取締役 秋本 浩一 さん



国内で自社開発し、お客様の目線に立ちフルオーダーメイドで対応できることが強みです。あらゆる業界で品質や付加価値を高めるこの技術は、お客様にとって必ずメリットになるのだと確信しています。開発時、ぜひこの技術を検討のひとつに加えていただければと願っています。